

科 目		Androidプログラミング I (前期)					
担当教員	沢田一樹	学年	2	履修期間	前期	単位	1
学科	情報システム科	実務経験のある教員等による授業					
種類	演習	単位時間	34	単位時間			
1. 概要							
目的	スマートフォンの仕組みの理解とAndroidアプリ制作方法の習得						
2. 講義計画							
第 1 週	スマートフォンの特徴とAndroidアプリ開発手法の説明						
第 2 週	Androidアプリ開発環境をPCに構築する						
第 3 週	アプリを作成してAndroidスマートフォンへインストールする						
第 4 週	ActivityとViewについて						
第 5 週	TextView課題						
第 6 週	ImageView課題						
第 7 週	Button課題						
第 8 週	アラートダイアログ課題						
第 9 週	タイマー課題1						
第 10 週	タイマー課題2						
第 11 週	Intent課題						
第 12 週	ListView、GridView課題						
第 13 週	アニメーション課題						
第 14 週	画面レイアウト課題						
第 15 週	○×ゲームアプリ制作1						
第 16 週	○×ゲームアプリ制作2						
第 17 週	○×ゲームアプリ制作3						
第 18 週	○×ゲームアプリ制作4						
3. 関連科目及び注意点							
	情報処理講座・アルゴリズムを並行して授業していること。						
4. 成績評価の方法							
	課題提出点および定期試験（筆記試験及び実技）により評価						
5. 教科書及び参考書など							
教科書	：やさしいC（第4版、ソフトバンククリエイティブ）						
問題集	：C言語プログラミング能力認定試験3級問題集（サーティファイ）						
6. 注意事項							
	パソコンを使つての実習である。						

科 目		AndroidプログラミングⅡ（後期）					
担当教員	沢田一樹	学年	2	履修期間	後期	単 位	2
学 科	情報システム科	実務経験のある教員等による授業					
種類	演習	単位時間	68	単位時間			
1. 概要							
目的	卒業発表に向けたAndroidアプリケーションのチーム制作						
2. 講義計画							
第 1 週	アイデア出し						
第 2 週	画面構成決定						
第 3 週	制作スケジュール、チーム・担当分け						
第 4 週	画面デザイン・プログラム・音楽制作						
第 5 週	画面デザイン・プログラム・音楽制作						
第 6 週	画面デザイン・プログラム・音楽制作						
第 7 週	画面デザイン・プログラム・音楽制作						
第 8 週	画面デザイン・プログラム・音楽制作						
第 9 週	画面デザイン・プログラム・音楽制作						
第 10 週	画面デザイン・プログラム・音楽制作						
第 11 週	画面デザイン・プログラム・音楽制作						
第 12 週	画面デザイン・プログラム・音楽制作						
第 13 週	画面デザイン・プログラム・音楽制作						
第 14 週	画面デザイン・プログラム・音楽制作						
第 15 週	画面デザイン・プログラム・音楽制作						
第 16 週	発表資料・動作制作						
第 17 週	発表資料・動作制作						
第 18 週	発表資料・動作制作						
3. 関連科目及び注意点							
	情報処理講座・アルゴリズムを並行して授業していること。						
4. 成績評価の方法							
	課題提出点および定期試験（筆記試験及び実技）により評価						
5. 教科書及び参考書など							
教科書	：やさしいC（第4版、ソフトバンククリエイティブ）						
問題集	：C言語プログラミング能力認定試験3級問題集（サーティファイ）						
6. 注意事項							
	パソコンを使っでの実習である。						

科 目		簿記 I (前期)					
担当教員	加藤雅博	学年	2	履修期間	前期	単位	1
学科	情報システム科	コース					
	種類	演習	単位時間	34	単位時間		
1. 概要							
目的	会計システムを構築するには、簿記の知識が必要となる。また、昨今の事務職では、コンピュータやネットワークの知識を求められることが多い。本講座では日商簿記3級程度の基礎的な知識を得ることを目的とする。						
2. 講義計画							
第 1 週	簿記の基本 商品を買って(売った)時の仕訳(分記法)						
第 2 週	商品を仕入れた(売り上げた)時の仕訳(三分法)						
第 3 週	掛けで仕入れた時の仕訳 掛けで売り上げたときの仕訳						
第 4 週	クレジット払いで商品を売り上げたときの仕訳 商品の返品があったときの仕訳						
第 5 週	仕入諸掛り(当社負担) 売上諸掛り(当社負担)の仕訳						
第 6 週	他人振出小切手を受け取った時の仕訳 現金過不足						
第 7 週	普通預金 当座預金 小切手 当座借越						
第 8 週	小口現金						
第 9 週	手形と電子記録債権						
第 10 週	貸付金・借入金、手形貸付金・手形借入金						
第 11 週	その他の債権債務 1 前払金 未収金						
第 12 週	その他の債権債務 2 前受金 仮払金・仮受金						
第 13 週	その他の債権債務 3 立替金 所得税預り金 受取商品券						
第 14 週	その他の費用 消耗品費 租税公課						
第 15 週	貸倒と貸倒引当金						
第 16 週	有形固定資産と減価償却						
第 17 週	前期定期試験 1						
第 18 週	前期定期試験 2						
3. 関連科目及び注意点							
	電卓またはそろばんが必要です。						
4. 成績評価の方法							
	課題提出点および定期試験(筆記試験)により評価						
5. 教科書及び参考書など							
教科書	: スッキリわかる日商簿記3級 第10版						
問題集	:						
6. 注意事項							

科 目		簿記Ⅱ（後期）					
担当教員	加藤雅博	学年	2	履修期間	前期	単位	1
学科	情報システム科		コース				
	種類	演習	単位時間	34	単位時間		
1. 概要							
目的	前期の簿記1で仕訳を学習し、後期の簿記2では帳簿への記帳の仕方を学ぶ。日商簿記3級程度の記帳ができるように学習する。						
2. 講義計画							
第1週	株式の発行、剰余金の配当と処分						
第2週	法人税等と消費税						
第3週	費用・収益の前払い・前受と未払い・未収、訂正仕訳						
第4週	仕訳帳と総勘定元帳						
第5週	現金出納帳と当座預金出納帳						
第6週	小口現金出納帳						
第7週	仕入帳と買掛金元帳への記入						
第8週	商品有高帳への記入						
第9週	受取手形記入帳と支払手形記入帳						
第10週	帳簿のまとめ						
第11週	試算表						
第12週	伝票と仕訳日計表、証しよう						
第13週	精算表と財務諸表1						
第14週	精算表と財務諸表2						
第15週	精算表と財務諸表3						
第16週	帳簿の締め切り						
第17週	後期定期試験1						
第18週	後期定期試験2						
3. 関連科目及び注意点							
	電卓またはそろばんが必要です。						
4. 成績評価の方法							
	課題提出点および定期試験（筆記試験）により評価						
5. 教科書及び参考書など							
教科書	：スッキリわかる日商簿記3級 第10版						
問題集	：						
6. 注意事項							

科 目		基礎教養 I (前期)					
担当教員	加藤雅博	学年	2	履修期間	前期	単位	1
学科	情報システム科		コース				
	種類	演習	単位時間	34	単位時間		
1. 概要							
目的		<ul style="list-style-type: none"> ・SPI適性検査／時事／働くための基礎知識などの学習を進める。 ・履歴書の書き方、会社訪問の仕方、面接の練習などの練習を行う。 ・就職面談を行う。 					
2. 講義計画							
第 1 週	・授業の説明／スケジュール／個別面談						
第 2 週	・職業／職種について 知らない仕事も沢山ある。						
第 3 週	・労働法を知ろう						
第 4 週	・求人票を見よう／会社を選択するポイント						
第 5 週	・履歴書の書き方① 自己分析①						
第 6 週	・履歴書の書き方① 自己分析②						
第 7 週	・履歴書を完成させる						
第 8 週	・SPIをやってみよう (仕事量)						
第 9 週	・SPIをやってみよう (損益計算) / ・会社訪問の仕方						
第 10 週	・SPIをやってみよう (分割払い) / ・面接の練習						
第 11 週	・SPIをやってみよう (料金割引) / ・面接の練習						
第 12 週	・SPIをやってみよう (料金精算) / ・面接の練習						
第 13 週	・SPIをやってみよう (速度) / ・面接の練習						
第 14 週	・SPIをやってみよう (資料解釈) / ・面接の練習						
第 15 週	・SPIをやってみよう (割合) / ・面接の練習						
第 16 週	・SPIをやってみよう (推論) / ・面接の練習						
第 17 週	・SPIをやってみよう (推論) / ・面接の練習						
第 18 週	・前期定期試験試験						
3. 関連科目及び注意点							
4. 成績評価の方法							
課題提出点および定期試験（筆記試験）により評価							
5. 教科書及び参考書など							
教科書	: プリントを配布する						
問題集	:						
6. 注意事項							

科 目		基礎教養Ⅱ（後期）					
担当教員	加藤雅博	学年	2	履修期間	前期	単位	1
学科	情報システム科		コース				
	種類	演習	単位時間	34	単位時間		
1. 概要							
	目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会で必要な知識（時事・政治・経済・など） ・ 就職面談を行う。 ・ 卒業研究の準備。 					
2. 講義計画							
	第 1 週	・ 重要テーマ 1					
	第 2 週	・ 重要テーマ 2					
	第 3 週	・ 国際政治					
	第 4 週	・ 国際政治					
	第 5 週	・ 日本経済					
	第 6 週	・ 日本経済					
	第 7 週	・ 業界/企業					
	第 8 週	・ 業界/企業					
	第 9 週	・ 労働/雇用					
	第 10 週	・ テクノロジー					
	第 11 週	・ テクノロジー					
	第 12 週	・ 社会/環境					
	第 13 週	・ 社会/環境					
	第 14 週	・ 経済の基礎知識					
	第 15 週	・ 卒業研究発表会準備					
	第 16 週	・ 卒業研究発表会準備					
	第 17 週	・ 卒業研究発表会準備					
	第 18 週	・ 後期定期試験					
4. 成績評価の方法							
	課題提出点および定期試験（筆記試験）により評価						
5. 教科書及び参考書など							
	教科書	: プリントを配布する					
	問題集	:					
6. 注意事項							
	時事に関しては、その時の状況によりテーマが変わります。						

科 目		Java応用（前期）					
担当教員	加藤雅博	学年	2	履修期間	前期	単位	1
学科	情報システム科	コース					
	種類	演習	単位時間	34	単位時間		
1. 概要							
目的	Javaの基礎的な文法をマスターしたので、基本文法やオブジェクト指向をい駆使して作成されているJavaAPIについて学びます。						
2. 講義計画							
第 1 週	Javaが備えるAPI群・全てのクラスの祖先・静的メンバ						
第 2 週	文字列処理・基本的な文字列操作・文字列の連結・正規表現の活用						
第 3 週	文字列の書式整形・日付と時刻を扱う・TimeAPI						
第 4 週	コレクションとは・ArrayListの使い方						
第 5 週	Set関連クラス						
第 6 週	Mapの使い方						
第 7 週	コレクションの応用						
第 8 週	中間まとめ						
第 9 週	エラーの種類と対応策・例外処理の流れ						
第 10 週	例外クラスとその種類・例外の発生と例外インスタンス						
第 11 週	さまざまなcatch文						
第 12 週	例外の伝播・発生させる						
第 13 週	ファイルを読み書きする・インターネットにアクセスする						
第 14 週	データベースを操作する						
第 15 週	ウィンドウズアプリケーションを作る						
第 16 週	スマートフォンアプリを作成する						
第 17 週	Webサーバで動くJavaプログラム						
第 18 週	前期定期試験						
4. 成績評価の方法							
課題提出点および定期試験（筆記試験）により評価							
5. 教科書及び参考書など							
教科書	：プリントを配布する						
問題集	：						
6. 注意事項							
教科書	：スッキリわかる日商簿記3級 第10版						
問題集	：						
6. 注意事項							

科 目		VBA実習 I (前期)					
担当教員	加藤雅博	学年	2	履修期間	前期	単位	1
学科	情報システム科						
	種類	演習	単位時間	34	単位時間		
1. 概要							
目的	Excel/VBAを学習する。マクロを組むことにより、誰でも簡単に使うことのできる表を作成できるだけの技術を学ぶ。						
2. 講義計画							
第 1 週	マクロとVBAの関係を理解する VBAのメリット						
第 2 週	VBAのプログラムの全体像 VBE						
第 3 週	標準モジュール Subプロシージャ マクロ有効ブックの保存						
第 4 週	オブジェクト プロパティ メソッド						
第 5 週	条件に応じた処理 1 IF文 比較演算子						
第 6 週	条件に応じた処理 2 IF~ELSE文						
第 7 週	条件に応じた処理 3 IF~ELSE文						
第 8 週	同じ処理を繰り返す 1 変数						
第 9 週	同じ処理を繰り返す 2 For Next文						
第 10 週	同じ処理を繰り返す 3 For Next文 文字列結合演算子						
第 11 週	同じ処理を繰り返す 4 For Next文 メソッド						
第 12 週	VBA関数 NOW関数						
第 13 週	プログラムの改善 1						
第 14 週	プログラムの改善 2						
第 15 週	計算ドリルを作る 1						
第 16 週	計算ドリルを作る 2						
第 17 週	前期定期試験 1						
第 18 週	前期定期試験 2						
3. 関連科目及び注意点							
パソコン基礎実習							
4. 成績評価の方法							
課題提出点および定期試験（筆記試験及び実技）により評価							
5. 教科書及び参考書など							
教科書	: 入門者のExcel VBA 初めての人にベストな学び方（ブルーボックス）						
問題集	:						
6. 注意事項							
パソコンを使つての実習である。							

科 目		VBA実習Ⅱ（後期）					
担当教員	加藤雅博	学年	2	履修期間	前期	単位	1
学科	情報システム科						
	種類	演習	単位時間	34	単位時間		
1. 概要							
目的	Excel/VBAを学習する。マクロを組むことにより、誰でも簡単に使うことのできる表を作成できるだけの技術を学ぶ。						
2. 講義計画							
第 1 週	マクロとVBAの関係を理解する VBAのメリット						
第 2 週	VBAのプログラムの全体像 VBE						
第 3 週	標準モジュール Subプロシージャ マクロ有効ブックの保存						
第 4 週	オブジェクト プロパティ メソッド						
第 5 週	条件に応じた処理 1 IF文 比較演算子						
第 6 週	条件に応じた処理 2 IF～ELSE文						
第 7 週	条件に応じた処理 3 IF～ELSE文						
第 8 週	同じ処理を繰り返す 1 変数						
第 9 週	同じ処理を繰り返す 2 For Next文						
第 10 週	同じ処理を繰り返す 3 For Next文 文字列結合演算子						
第 11 週	同じ処理を繰り返す 4 For Next文 メソッド						
第 12 週	VBA関数 NOW関数						
第 13 週	プログラムの改善 1						
第 14 週	プログラムの改善 2						
第 15 週	計算ドリルを作る 1						
第 16 週	計算ドリルを作る 2						
第 17 週	前期定期試験 1						
第 18 週	前期定期試験 2						
3. 関連科目及び注意点							
パソコン基礎実習							
4. 成績評価の方法							
課題提出点および定期試験（筆記試験及び実技）により評価							
5. 教科書及び参考書など							
教科書	：入門者のExcel VBA 初めての人にベストな学び方（ブルーボックス）						
問題集	：						
6. 注意事項							
パソコンを使つての実習である。							

科 目		HTML&CSS (前期)					
担当教員	加藤 雅博	学年	2	履修期間	前期	単位	2
学科	情報システム科						
種類	演習	単位時間	68	単位時間			
1. 概要							
目的	HTMLおよびWebページのデザインを中心に学ぶ。ユーザーが使いやすい、見やすい、Webページを作る技術を取得し、自社のWebページを作成できるようにする。						
2. 講義計画							
第 1 週	Webサイト制作の事前準備 1 Webサイトの仕組み						
第 2 週	Webサイト制作の事前準備 2 制作環境の準備						
第 3 週	HTMLの基本 1 HTMLとは						
第 4 週	HTMLの基本 2 見出し段落・改行						
第 5 週	HTMLの基本 4 リンクの画像の表示・ディレクトリ						
第 6 週	HTMLの基本 5 コメント文の役割と書き方、HTMLの基本構造						
第 7 週	HTMLの基本 6 文字コード						
第 8 週	CSSの基本 1 CSSの書き方						
第 9 週	CSSの基本 2 CSSの参照方法と書式						
第 10 週	CSSの基本 3 セレクタの種類						
第 11 週	CSSの基本 4 さまざまなCSSスタイル						
第 12 週	CSSの基本 5 CSS 3 の活用						
第 13 週	webサイトの作成 1 作成するWebサイトとレイアウト						
第 14 週	webサイトの作成 2 Webサイト制作の前準備						
第 15 週	webサイトの作成 3 ヘッダー部分の作成、コンテンツ部分の作成						
第 16 週	webサイトの作成 4 フッターの作成						
第 17 週	前期定期試験 1						
第 18 週	前期定期試験 2						
3. 関連科目及び注意点							
	Webプログラム開発基礎 I・II						
4. 成績評価の方法							
	課題提出点および定期試験（筆記試験及び実技）により評価						
5. 教科書及び参考書など							
教科書	: 本当によくわかるHTML&CSSの教科書（本当によくわかる教科書）						
問題集	:						
6. 注意事項							
	パソコンを使つての実習である。						

科 目		JavaScript (後期)					
担当教員	加藤雅博	学年	2	履修期間	後期	単位	2
学科	情報システム科						
種類	演習	単位時間	68	単位時間			
1. 概要							
目的	JavaScriptはWeb開発で活躍するプログラミング言語である。Webシステムを開発するためには必須であり、この技術を取得することでIT技術者として活躍できるようになることを目的とする。						
2. 講義計画							
第 1 週	Webの仕組みとJavaScriptの役割 ネットワークとプロトコル HTTP						
第 2 週	サーバーサイドプログラミングとクライアントサイトプログラミング 1						
第 3 週	サーバーサイドプログラミングとクライアントサイトプログラミング 2						
第 4 週	JavaScriptプログラム 開発環境、文字コード Hello World!の表示						
第 5 週	基本的なJavaScriptの書き方						
第 6 週	ブラウザ所属のデベロッパーツール、エラーの確認						
第 7 週	scriptタグの位置、コードを外部ファイルへ保存する						
第 8 週	変数とデータ型 リテラル 変数とデータ型						
第 9 週	演算子 算術演算 足し算・四則演算・余り・累乗						
第 10 週	文字列結合と演算子の優先順位 文字列の結合 演算子の優先						
第 11 週	さまざまな演算子 複合代入演算子 インクリメントとデクリメント 演算子まとめ						
第 12 週	条件分岐 ifとelse						
第 13 週	boolean型変数と比較演算子						
第 14 週	if条件分岐の完成形						
第 15 週	条件分岐の応用						
第 16 週	swich文						
第 17 週	試験準備						
第 18 週	前期試験						
3. 関連科目及び注意点							
	Webデザイン I・II、Java言語基礎						
4. 成績評価の方法							
	課題提出点および定期試験（筆記試験及び実技）により評価						
5. 教科書及び参考書など							
教科書	: 本当によくわかるHTML&CSSの教科書（本当によくわかる教科書）						
問題集	:						
6. 注意事項							
	パソコンを使つての実習である。						

科 目		デザイン基礎 I (前期)					
担当教員	中川 貴博	学年	2	履修期間	前期	単位	2
学科	情報システム科	実務経験のある教員等による授業					
種類	演習	単位時間	68	単位時間			
1. 概要							
目的	社会生活で必要とされるデザインの考え方を学びながら、他者への理解と自己の理解を高め、様々な問題解決を図るための素養を培う。						
2. 講義計画							
第 1 週	デザイン概論Ⅱ						
第 2 週	デザイン概論Ⅱ						
第 3 週	発想演習Ⅲ						
第 4 週	発想演習Ⅲ						
第 5 週	ビジュアルコミュニケーションⅢ						
第 6 週	発想演習Ⅳ						
第 7 週	発想演習Ⅳ						
第 8 週	タイポグラフィⅡ						
第 9 週	タイポグラフィⅡ						
第 10 週	タイポグラフィⅡ						
第 11 週	タイポグラフィⅡ						
第 12 週	ビジュアルコミュニケーションⅣ						
第 13 週	アドタイピングエレメント						
第 14 週	アドタイピングエレメント						
第 15 週	アドタイピングエレメント						
第 16 週	アドタイピングエレメント						
第 17 週	アドタイピングエレメント						
第 18 週	ポートフォリオ						
3. 関連科目及び注意点							
4. 成績評価の方法							
5. 教科書及び参考書など							
教科書	特に無し						
参考書	:						
6. 注意事項							
	スケッチブック、鉛筆、色鉛筆、他 学校購入画材						

科目	デジタルサウンド基礎実習Ⅲ（前期）				
担当教員	宮崎亮	学年	2	履修期間	後期
学科	情報システム科	実務経験のある教員等による授業			
種類	演習	単位時間	34	単位時間	
1. 概要					
目的	コンピュータを使って作曲を行う。 簡単な音楽を作り、システムの素材として活用できる技術を学ぶ。				
2. 講義計画					
第 1 週	G線 書き譜				
第 2 週	G線 書き譜 メロディ入力（バッハについて）				
第 3 週	パワーポップ				
第 4 週	デジタルアルペ				
第 5 週	テンションコード				
第 6 週	Powerpop				
第 7 週	Yesterdayサビ オーケストラ				
第 8 週	Yesterdayサビ オーケストラ 自分で和音設定				
第 9 週	アルペジオで作曲 指定のコード進行で行う				
第 10 週	アルペジオ				
第 11 週	デジタルアルペ				
第 12 週	デジタルアルペ				
第 13 週	デジタルアルペ テンションコード				
第 14 週	テクノ4つ打				
第 15 週	試験準備 1				
第 16 週	試験準備 2				
第 17 週	前期試験 1				
第 18 週	前期試験 2				
3. 関連科目及び注意点					
デジタルサウンド基礎実習Ⅰ					
4. 成績評価の方法					
日常点および定期試験（実技試験）および課題点により評価					
5. 教科書及び参考書など					
教科書	: プリントにて対応				
参考書	:				
6. 注意事項					
パソコンを使っての実習である。					

科目	デジタルサウンド基礎実習Ⅳ（後期）				
担当教員	宮崎亮	学年	2	履修期間	後期
学科	情報システム科	実務経験のある教員等による授業			
	種類	演習	単位時間	34	単位時間
1. 概要					
	目的	コンピュータを使って作曲を行う。 簡単な音楽を作り、システムの素材として活用できる技術を学ぶ。			
2. 講義計画					
	第 1 週	フリー曲。A・B・C・（AB）で、Dr. Bs. コード, メロディー, +d	1		
	第 2 週	フリー曲。A・B・C・（AB）で、Dr. Bs. コード, メロディー, +d	2		
	第 3 週	Bright POP 16要素入れ、バックサウンドまで。	1		
	第 4 週	Bright POP 16要素入れ、バックサウンドまで。	2		
	第 5 週	テクノ 4 打 Dr & Bs			
	第 6 週	テクノ 4 打 サビのみオリジナル採点			
	第 7 週	テクノ 4 打 サビのみオリジナル採点			
	第 8 週	メロディ入れ			
	第 9 週	メロディ入れ			
	第 10 週	R&Rへ 8Beat Bs line入力			
	第 11 週	XmasSong			
	第 12 週	XmasSong			
	第 13 週	XmasSong			
	第 14 週	XmasSong			
	第 15 週	試験準備 1			
	第 16 週	試験準備 2			
	第 17 週	後期試験 1			
	第 18 週	後期試験 2			
3. 関連科目及び注意点					
	デジタルサウンド基礎実習Ⅰ				
4. 成績評価の方法					
	日常点および定期試験（実技試験）および課題点により評価				
5. 教科書及び参考書など					
	教科書	: プリントにて対応			
	参考書	:			
6. 注意事項					
	パソコンを使っでの実習である。				

科 目		データベース実習（後期）					
担当教員	加藤雅博	学年	2	履修期間	後期	単位	2
学科	情報システム科	コース					
	種類	演習	単位時間	68	単位時間		
1. 概要							
目的	Accessの基本的な使い方からAccessVBAの基本までを学ぶ。 データベースの概念を取得することが主な目的である。						
2. 講義計画							
第 1 週	データベースとは（Excelとの違い）						
第 2 週	テーブル・クエリ・レポートフォーム						
第 3 週	データの整合性 データベースプロジェクト ナビゲーションウィンドウ						
第 4 週	テーブルの基礎知識1 テーブルの設計 主キー データ型						
第 5 週	整合性 データのインポート						
第 6 週	データシートビュー 運用に関する注意						
第 7 週	クエリ1 クエリの基本						
第 8 週	クエリ2 条件付きクエリ Like演算子 パラメータクエリ						
第 9 週	クエリ3 アクションクエリ クエリのエクスポート						
第10週	リレーションシップ						
第11週	レポートとフォーム						
第12週	マクロとVBA1 マクロで基本的な機能を使う						
第13週	マクロとVBA2 マクロで細かい機能を作り込む						
第14週	マクロをもっと塚小茄子						
第15週	VBAの基本						
第16週	VBAならではの使い方						
第17週	後期定期試験 1						
第18週	後期定期試験 2						
3. 関連科目及び注意点							
情報処理講座・アルゴリズムを並行して授業していること。							
4. 成績評価の方法							
課題提出点および定期試験（筆記試験及び実技）により評価							
5. 教科書及び参考書など							
教科書	Accessマクロ&VBAのプログラミングのツボとコツがゼッタイにわかる本 2019/2016対応（ツボとコツシリーズ）						
問題集							
6. 注意事項							
パソコンを使っでの実習である。							

科 目		カラーコーディネートⅠ（前期）					
担当教員	恩村比呂子	学年	2	履修期間	前期	単位	2
学科	情報システム科						
種類	演習	単位時間	68	単位時間			
1. 概要							
目的	色彩理論を学び、色の活用方法を身につける。色の使われ方に興味を持ち視野を広く持てるようになる。学んだ知識を普段の生活の中で活かし心豊かな毎日を送れるようになる。色彩検定3級合格相当の知識を持つ。						
2. 講義計画							
第 1 週	オリエンテーション / 色のはたらき / 心に作用する色「赤」						
第 2 週	光と色 / 心に作用する色「オレンジ」						
第 3 週	光の性質 / 心に作用する色「黄」						
第 4 週	眼のしくみ / 心に作用する色「緑」						
第 5 週	照明と色 / 心に作用する色「青」						
第 6 週	混色 / 心に作用する色「紫」						
第 7 週	色の表示と三属性 / 心に作用する色「白」						
第 8 週	PCCS色相 / 心に作用する色「黒」						
第 9 週	PCCS明度と彩度 / PCCS トーン / 心に作用する色「灰」						
第 10 週	色の心理効果						
第 11 週	色の視覚効果						
第 12 週	色彩調和「色相配色」						
第 13 週	色彩調和「トーン配色」						
第 14 週	色彩調和「配色技法」						
第 15 週	色の三属性とイメージ						
第 16 週	ファッションの色彩						
第 17 週	前期末試験						
第 18 週	前期末試験の解説 / 彩色演習						
3. 関連科目及び注意点							
4. 成績評価の方法							
課題提出点および定期試験（作品提出）により評価							
5. 教科書及び参考書など							
教科書	：色彩検定公式テキスト3級 / 新配色カード199a						
問題集	：						
6. 注意事項							
色鉛筆、はさみ、のり、雑誌（2～3冊）を使う場合あり。その都度連絡します。							

科 目		カラーコーディネートⅡ（後期）					
担当教員	恩村比呂子	学年	2	履修期間	前期	単位	2
学科	情報システム科						
種類	演習	単位時間	68	単位時間			
1. 概要							
目的	色彩理論を学び、色の活用方法を身につける。色の使われ方に興味を持ち、配色を工夫することでイメージのコントロールが可能になることを演習を通して体感する。学んだ知識を普段の生活の中で活かし心豊かな毎日を送れるようになる。						
2. 講義計画							
第 1 週	色彩検定対策 過去問題						
第 2 週	色彩検定対策 過去問題						
第 3 週	色彩検定対策 過去問題						
第 4 週	色彩検定対策 過去問題						
第 5 週	色彩検定対策 過去問題						
第 6 週	イメージ配色①「3色配色、4色配色」						
第 7 週	イメージ配色②「4色配色」						
第 8 週	イメージ配色③「デザイン要素別イメージ」						
第 9 週	イメージコラージュ①「はなやかイメージ」						
第 10 週	イメージコラージュ②「おだやかイメージ」						
第 11 週	イメージコラージュ③「さわやかイメージ」						
第 12 週	色彩心理（色彩コラージュ作成）						
第 13 週	9イメージコラージュ要素別①						
第 14 週	9イメージコラージュ要素別②						
第 15 週	後期末試験（イメージボード作成）						
第 16 週	後期末試験（イメージボード発表とプレゼンテーション）						
第 17 週							
第 18 週							
3. 関連科目及び注意点							
4. 成績評価の方法							
課題提出点および定期試験（作品提出）により評価							
5. 教科書及び参考書など							
教科書	：色彩検定公式テキスト3級 / 新配色カード199a						
問題集	：						
6. 注意事項							
色鉛筆、はさみ、のり、雑誌（2～3冊）を使う場合あり。その都度連絡します。							

科 目		パソコン応用実習 I (前期)					
担当教員	加藤 雅博	学年	2	履修期間	前期	単位	1
学科	情報システム科						
種類	演習	単位時間	34	単位時間			
1. 概要							
目的	<ul style="list-style-type: none"> ① 日常生活や職場でパソコンを効果的に活用する力を身につける ② パソコンを使用しての集中力・作業の正確性の向上を図る ③ ワープロ検定、情報処理技能検定（表計算）への目標を持ち、学習を進める 						
2. 講義計画							
	<ul style="list-style-type: none"> ① 情報処理検定表計算部門模擬問題（実力判定） ② 情報処理検定表計算部門模擬問題（実力判定） ③ 入力補助機能（入力規則・コメントの挿入・ユーザー定義） ④ 入力補助機能（条件付き書式・名前の定義・データの保護・検索と置換） ⑤ 関数（文字列操作・データベース・検索/行列関数） ⑥ 関数（数学/三角関数・統計・論理・日付・情報） ⑦ グラフ ⑧ 複数のワークシートの集計/データベース ⑨ データの分析（ピボットテーブル） ⑩ Excel検定問題 ⑪ Excel検定問題 ⑫ 情報処理検定表計算部門模擬問題 ⑬ 情報処理検定表計算部門模擬問題 ⑭ 情報処理検定表計算部門模擬問題 ⑮ 情報処理検定表計算部門模擬問題 ⑯ 情報処理検定表計算部門模擬問題 ⑰ 後期定期試験 1 ⑱ 後期定期試験2 						
3. 関連科目及び注意点							
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1年次の学習内容の理解度・定着度に応じて復習を行う ・ 各項目の理解度を確認しながら、丁寧に進める 						
4. 成績評価の方法							
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平常点・定期試験による評価 						
5. 教科書及び参考書など							
	<p>「プレゼンテーション作成検定試験過去問題」 <https://www.goukaku.ne.jp/test_presen.html> 「ワープロ検定模擬問題集」「情報処理技能検定試験（表計算）模擬問題集」 「文書デザイン検定試験模擬問題集」</p>						
6. 注意事項							

科 目		パソコン応用実習Ⅱ（後期）					
担当教員	加藤 雅博	学年	2	履修期間	後期	単位	1
学科	情報システム科						
種類	演習	単位時間	34	単位時間			
1. 概要							
目的	① 日常生活や職場でパソコンを効果的に活用する力を身につける ② パソコンを使用時の集中力・作業の正確性の向上を図る ③ ワープロ検定、パワーポイントへの目標を持ち、学習を進める						
2. 講義計画							
① 書式の設定（書式の設定・コピー、段落番号、スタイルの登録、段組み、ドロップキャップ） ② 文書の校正（検索/置換/ジャンプ）、文字種の返還、文書の校正、補助入力機能、コメント、変更箇所の記録と表示、禁則文字の設定） ③ 表の作成（表の作成、編集、スタイル、表内の配置と並べ替え、計算、レイアウト） ④ グリッド線の表示、smartartの挿入、図形、グループ化、ページ罫線） ⑤ 縦書き ⑥ 差し込み印刷、ヘッダーとフッター、共有と保護、PDF形式の保存） ⑦ PowerPointの基礎知識 ⑧ プレゼンテーションの作成 ⑨ 文字の編集/オブジェクトの作成 ⑩ 表やグラフ/表示効果とハイパーリンク/スライドショー ⑪ パワーポイント～プレゼンテーション作成検定2級演習問題Ⅰ ⑫ パワーポイント～プレゼンテーション作成検定2級演習問題Ⅱ ⑬ パワーポイント～プレゼンテーション作成検定2級演習問題Ⅲ ⑭ 総復習Ⅰ（ワード） ⑮ 総復習Ⅱ（エクセル） ⑯ 総復習Ⅲ（パワーポイント） ※ワープロ検定・情報処理技能検定（表計算）対策（各自の級にそって進める）							
3. 関連科目及び注意点							
<ul style="list-style-type: none"> ・ 1年次の学習内容の理解度・定着度に応じて復習を行う ・ 各項目の理解度を確認しながら、丁寧に進める 							
4. 成績評価の方法							
<ul style="list-style-type: none"> ・ 平常点・定期試験による評価 							
5. 教科書及び参考書など							
「プレゼンテーション作成検定試験過去問題」 < https://www.goukaku.ne.jp/test_presen.html > 「ワープロ検定模擬問題集」「情報処理技能検定試験（表計算）模擬問題集」 「文書デザイン検定試験模擬問題集」							
6. 注意事項							

科 目		国家試験対策Ⅰ（前期）				
担当教員	横田 潤一	学年	2	履修期間	前期	
学科	情報システム科					
種類	演習	単位時間	68	単位時間		
1. 概要						
目的	①	消防法で定められた「危険物」の取り扱いや管理に必要とされる資格（危険物取扱者）の取得を目指す。同時に資格取得の学びを通して、意欲や探求心に係る自己教育力の育成を目的とする。				
2. 講義計画						
	①	科目オリエンテーション（法令）危険物の定義と種類				
	②	（法令）危険物の指定数量				
	③	（法令）危険物の施設の分類、危険物に関する許認可と諸手続き				
	④	（法令）危険物取扱者、予防規定と定期点検				
	⑤	（法令）保安距離と保有空地、製造所				
	⑥	（法令）屋内貯蔵所、屋外タンク貯蔵所、屋内タンク貯蔵所				
	⑦	（法令）地下タンク貯蔵所、簡易タンク貯蔵所				
	⑧	（法令）移動タンク貯蔵所、屋外貯蔵所、給油取扱所				
	⑨	（法令）その他の取扱所、標識・掲示板				
	⑩	（法令）消火設備と警報設備				
	⑪	（法令）貯蔵・取扱いの基準				
	⑫	（法令）運搬・移送の基準、義務違反に関する措置				
	⑬	（基礎物化）物質の三態と状況変化、密度と比重、熱と移動				
	⑭	（基礎物化）電気の基本知識、静電気				
	⑮	（基礎物化）化学の基本法則、化学反応と熱、酸と塩基				
	⑯	（基礎物化）参加と還元、有機化学、燃焼の基礎理論				
3. 関連科目及び注意点						
		乙種第4種危険物取扱責任者の国家試験受験を前提とする。				
4. 成績評価の方法						
		・平常点・定期試験による評価				
5. 教科書及び参考書など						
	教科書	危険物取扱者試験例題集（乙四）				
	参考書	乙種第4類危険物取扱者				
6. 注意事項						

科 目		国家試験対策Ⅱ（後期）				
担当教員	横田 潤一	学年	2	履修期間	後期	
学科	情報システム科					
種類	演習	単位時間	68	単位時間		
1. 概要						
目的	①	消防法で定められた「危険物」の取り扱いや管理に必要とされる資格（危険物取扱者）の取得を目指す。同時に資格取得の学びを通して、意欲や探求心に係る自己教育力の育成を目的とする。				
2. 講義計画						
	①	科目オリエンテーション（基礎物化）金属、有機化学				
	②	（基礎物化）燃焼の基礎理論				
	③	（基礎物化）燃焼範囲と引火点・発火点				
	④	（基礎物化）消火の基礎理論				
	⑤	（基礎物化）消火器と消火剤				
	⑥	（性質と火災予防・消火方法）危険物の種類と性質、各種の危険物の性質				
	⑦	（性質と火災予防・消火方法）第4類危険物の特性				
	⑧	（性質と火災予防・消火方法）第4類危険物の事故事例				
	⑨	（性質と火災予防・消火方法）特殊引火物				
	⑩	（性質と火災予防・消火方法）第1石油類				
	⑪	（性質と火災予防・消火方法）アルコール類、第2石油類				
	⑫	（性質と火災予防・消火方法）第3石油類				
	⑬	（性質と火災予防・消火方法）第4類石油類、動植物油類				
	⑭	模擬試験1				
	⑮	模擬試験2				
	⑯	模擬試験3				
3. 関連科目及び注意点						
		乙種第4種危険物取扱責任者の国家試験受験を前提とする。				
4. 成績評価の方法						
		・平常点・定期試験による評価				
5. 教科書及び参考書など						
	教科書	危険物取扱者試験例題集（乙四）				
	参考書	乙種第4類危険物取扱者				
6. 注意事項						

科 目	コミュニケーションⅢ（前期）					
担当教員	佐藤 隆博	学年	2年	履修期間	前期	
学科	情報システム科					
種別	演習	単位時間	34	単位時間		
1. 概要						
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分や相手の考えや思いを知ること ・ 相手の考えや思いを受け入れる話の聞き方を身につける 					
2. 講義計画						
第 1 週	話の聞き方にもいろいろある					
第 2 週	話の聞き方にもいろいろある					
第 3 週	人の話を上手に聞くには					
第 4 週	人の話を上手に聞くには					
第 5 週	落ち込んでいる友達の話聞くには					
第 6 週	落ち込んでいる友達の話聞くには					
第 7 週	悩んでいる友達の話聞くには					
第 8 週	悩んでいる友達の話聞くには					
第 9 週	泣いている友達の話聞くには					
第 10 週	泣いている友達の話聞くには					
第 11 週	イライラしている友達の話聞くには					
第 12 週	イライラしている友達の話聞くには					
第 13 週	いじめにあっている友達の話聞くには					
第 14 週	いじめにあっている友達の話聞くには					
第 15 週	友達を元気づけてあげるには					
第 16 週	友達を元気づけてあげるには					
3. 関連科目及び注意点						
4. 成績評価の方法						
平常点および定期試験（実技試験）で評価する						
5. 教科書及び参考書など						
教科書	:					
参考書	: 子どもとマスターする49の話の聞き方・伝え方					
6. 注意事項						

科 目	コミュニケーションⅣ（後期）				
担当教員	佐藤隆博	学年	2年	履修期間	後期
学科	情報システム科	実務経験のある教員等による授業			
種別	演習	単位時間	34 単位時間		
1. 概要					
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・自分や相手の考えや思いを、知ること ・自分の考えや思いを相手に伝える話し方を身につける 				
2. 講義計画					
第 1 週	話し方にもいろいろある				
第 2 週	話し方にもいろいろある				
第 3 週	上手にあいさつをするには				
第 4 週	上手にあいさつをするには				
第 5 週	「ありがとう」を上手に言うには				
第 6 週	「ありがとう」を上手に言うには				
第 7 週	「ごめんなさい」を上手に言うには				
第 8 週	「ごめんなさい」を上手に言うには				
第 9 週	初対面の人ときちんと話すには				
第 10 週	初対面の人ときちんと話すには				
第 11 週	目上の人ときちんと話すには				
第 12 週	目上の人ときちんと話すには				
第 13 週	自分の考えを上手に伝えるには				
第 14 週	自分の考えを上手に伝えるには				
第 15 週	仲間に入りたいときには				
第 16 週	仲間に入りたいときには				
3. 関連科目及び注意点					
4. 成績評価の方法					
平常点および定期試験（実技試験）で評価する					
5. 教科書及び参考書など					
教科書	:				
参考書	: 子どもとマスターする49の話の聞き方・伝え方				
6. 注意事項					